

市長の政治姿勢について

【問】市長は、貧困と格差社会、少子高齢化社会の中、憲法を生かす地方自治体のあり方をどのように考えているのか。

【答】12年間市長を担い、基礎自治体は、住民に最も身近で、最後のセーフティネットであり、市民の命と暮らしと安全を守ることが使命と考えている。

また、大阪都構想は府

内市町村を30万人規模の中核市へ再編するものであり、反対である。維新の会が提案した八尾空港へのオスプレイの飛行訓練配備にも、市民の命・財産を守る基礎自治体の長として反対である。

この考えは、地方自治の本旨であり、憲法を生かした地方自治に通ずるものと考えている。

健康遊具の設置を

◇健康遊具は、市内に天野川緑地と星田西の花染



公園の2か所しかありません。全国的に健康遊具（背のばしチェア、平均台、健康歩道、腹筋ベンチ等）の設置が増えてきています。公園に健康遊具の設置を求めました。

なお、天の川緑地公園の健康遊具が11基撤去されていますが、早急な復旧を求めました。

水害対策

水害対策について質問し、次のような答弁がありました。



(森地区の応急対策)

◇京阪電車と府道久御山線の交差点の浸水対策として、今年中に地下貯水槽の設置などの工事を実施する。

◇昨年の台風18号による森地区の土砂災害被害に対し、流出土砂や倒木の撤去、土砂流出防止の応急対策が5月末に完了した。今後、本格的対策として、大阪府が砂防堰堤の設置の取り組みを進めている。

ゆづゆセンターの利用改善を

ゆづゆセンターの利用者アンケートの実施と、ニーズに応えた施設の改善を求めました。

また、次の3点を要望しました。

- ①多目的ホールの利用日の決定を早くしてほしい。利用2ヶ月前では遅すぎる。
- ②お昼の12時～13時の時間帯も部屋の貸し出し

ひとり暮らし高齢者の支援について

孤独死や認知症状の進行、詐欺被害の増加など、ひとりの高齢者が安心して住み続けるまちづくりが求められています。

ところが交野市では、ひとりの暮らし高齢者の把握ができていません。

ひとり暮らし高齢者の実態調査とあわせ、府下34市町村で実施している「見守り訪問」や「安否確認」事業の実施を求めました。

また、緊急通報システム

△の利用回線について、

	総人口(人)	65歳以上(人)	高齢化率(%)
H20年	79,107	15,246	19.3
H21年	79,184	16,097	20.3
H22年	79,117	16,618	21.0
H23年	78,871	17,074	21.6
H24年	78,539	17,536	22.3
H25年	78,051	18,440	23.6
H26年	78,114	19,310	24.7

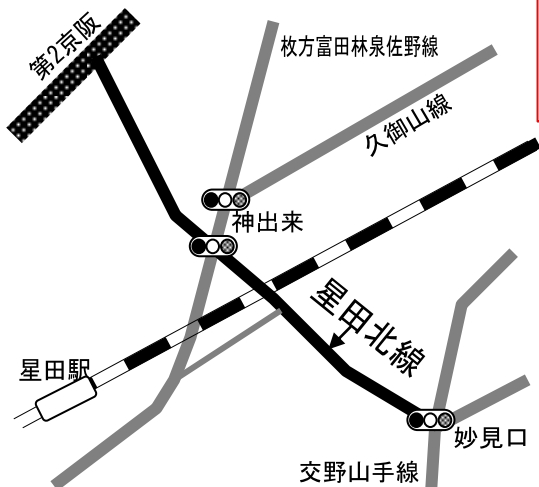
デジタルでも可能となる改善を求めました。

星田北線(都市計画道路)の整備を

【問】市道星田北線は、道路が狭く歩道もないため、危険な現状である。整備について、市の考えは。

【答】現在、星田北地域で土地区画整理によるまちづくりの協議がすすんでいる。星田北線は、星田北まちづくりに関連する重要な路線であり、まちづくりの詳細計画が確定した後、事業化を検討していく。

【要望】事業化に向けた早期の取り組みを求める。



子どもの貧困対策について

政府資料では、日本の子ども6〜7人に1人は貧困状態にあります。



国では「貧困の連鎖」を断ち切ることを目標に「子どもの貧困対策法」を制定し、貧困対策の検討を進めています。

【問】子育てや教育施策の充実が市に求められる

と考えるが。

【答】今後、法の趣旨や目的、財政措置状況を見極め適切に対応したい。

【要望】まず、交野の子ども貧困状態について調査を進めて頂きたい。具体支援としては、6割以上が貧困といわれる母子世帯への支援強化と、就学援助の拡充を要望する。

その他の質問

- 子どもの権利条約について
- 星田駅前パチンコ店について

市政へのご意見・ご要望をお寄せ下さい。

